

シャペロニンで遊ぼう

シャペロニン関連の記事が多い手前味噌な企画ばかりで恐縮だが、さらに悪のりして(というか空いたページを埋めるために仕方なく)、とっておきのGroEL型のおもちゃを紹介したい。

写真にあるように針金をビーズでつなげた幾何学玩具でいろいろなかたちに「構造変化」でき、GroELそっくりのかたちにも変形できる。折り畳んで上から数えると見事に「7量体」。しかも、



ダブルリング!

とは言え、最初に見つけたのは、「8量体」のかたちをしており、真核細胞のシャペロニンCCTを思い起こさせるものであった(写真右下。「変性タンパク質」と見なしたヒモのような消しゴムが結合しているもの)。

ちなみに「7量体GroEL」の方は、出張先のヨーロッパのとお



る街の露店にて購入。こういうおもちゃやパズルはなぜか海外で見つけることが多いのが、少しさみしいような気もしないでもない。大きい方は日本の知育玩具のお店で見つけたものである。研究室の一般公開や講義の小道具にもうってつけの一品。シャペロン研究者ならぜひ入手してもらいたいものである。

・・・というような感じで、タンパク質の立体構造やフォールディングを思い起こさせるパズルやおもちゃの話を自分のウェブサイトに掲載しています。お暇な方はぜひご覧ください。

「田口英樹のサプリメント」

<http://taguchi-hideki.blogspot.com>



(田口 英樹)